

## 第2学年〇組 社会科学学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 社会科研究主題 「自ら学び、思考し、表現する生徒の育成  
－社会科の学習における学び合いの場を通して－」

2 単元名 日清・日露と近代産業

3 単元について

### (1) 単元観

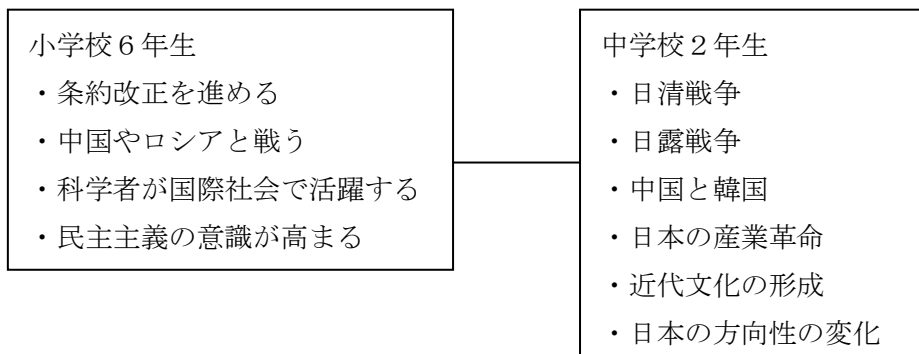
本単元は、第5章「開国と近代日本の歩み」の第3節に位置づけられている。学習指導要領の内容(5)のウでは「自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通して、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。」ということをおねらいとしている。

今回の題材である日露戦争に関しては、海外の前評判では圧倒的に不利であり、ロシア朝廷をして「日本とは戦争にならない。なぜなら朕がそれを欲しないからである。」とまで言われた戦争であった。大陸からの撤退という選択肢もあったにも関わらず、なぜ日本が大国であるロシアとの戦争に踏み切ったのかという点について考えさせたい。そこから、欧米の植民地支配の歴史の中で、日本のとった行動の歴史的背景を捉えさせたい。

そのために、日本が(条約改正のため)欧米諸国と対等な外交関係を樹立する必要性から大陸へ進出していったことと、ロシアの南下政策を取り上げることで両者が武力衝突にいたった経緯をイメージさせる。さらに、諸外国からは小さく見られていた日本としては、独立を守るために戦わざるを得なかった点、軍備が整ってきており勝機がまったくなかったわけではない点についても資料等から読み取らせていきたい。また、日露戦争後の日本の国際的な地位の向上についても、ネルーの言葉や、イスタンブールの道の名称、留学生の増加などを例に考えさせたい。

なお、この授業では、本校の教育主題である「自ら学び、思考し、表現する生徒の育成－社会科の学習における学び合いの場を通して－」に基づき、それぞれが資料から読み取り、考える場を設けると共に、意見を述べあう場を設定する。これにより、以下の生徒の実態でも触れるが、意見を述べることに苦手意識を持っている生徒が多いので、その苦手意識の改善の一助になればと考えている。

### (2) 指導内容の系統



#### 4 生徒の実態について

##### (1) 学級集団の実態

###### 調査結果

###### <アンケート結果>

項目1 「授業中の質問に対して自分なりの意見を述べるのが得意か？」

得意である…26% 普通…41% 苦手…33%

項目2 「風刺画をみて、何を示しているか読み取ることができるか？」

得意である…44% 普通…56% 苦手…0%

項目3 「授業内容を理解できているか？」

得意である…44% 普通…56% 苦手…0%

項目4 「社会科の学習でどのような活動が好きか？」

この項目で比較的多く見られた回答は、「ノートにまとめる」「新聞やニュース、ビデオ資料などをみる」、「調べ学習をする」であった。

項目5 「社会科の学習で大事だと思う活動は何か？」

この項目では、「問題を解く」、「暗記する」、「先生の話聞き」、「ノートにまとめる」といった回答が多く見られた。

↓個別 

A…よくできる	B…ふつう	C…苦手
---------	-------	------

###### <考察>

以上のアンケート調査の傾向から、このクラスの生徒の自己評価に関しては次のようなことがいえる。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・資料からの読み取りは比較的得意とする生徒が多い。</li><li>・授業内容への理解力は高い。</li><li>・ノート作成が好きな生徒が多い。</li><li>・視聴覚的な資料を好む。</li><li>・社会科は暗記科目であるとの認識が強い。</li></ul> |
|---|

しかし、テストや授業でのプリントなどをみていると、資料の読み取りに関しては突出して優れているという印象は受けない。表面的に読み取ってはできても、そこから一步踏み込んだ考察に関してはまだ甘いという認識を持っている。また、上記に関しては全体的な統計であり、個別で見えていくと意見を述べることに苦手とする生徒もいる。そこで、資料からの読み取りを主軸とした授業を今回は展開していきたい。また、項目1で意見を述べるのが苦手と答えた生徒に関しては、ノートへの記述などでは、資料の内容に対して適切な意見を書いている場合もあり、机間指導の際にピックアップし、個人名は出さずとも全体に提示するなどしていきたい。

##### (2) 単元に関わる実態

###### 調査結果

###### <プレテスト>

設問1 日本と清はある国をめぐって対立した。それはどこか？

(日本の大陸進出の足がかり)

正答率… 96%

設問2 ロシア、フランス、ドイツが遼東半島を返還するように求めたできごとを何と呼ぶか？

(日本のロシアに対する対抗心の芽生え)

正答率… 93%

設問3 日露戦争で勝ったのはどちらか？

(戦争の結果についての予備知識)

正答率… 67%

設問4 日露戦争の講和条約を何というか？

(戦争の結果についての予備知識)

正答率… 56%

#### <考察>

今回のプレテストの結果から判断できる、この単元に関する生徒の実態は次のとおりである。

- ・当時の日本が大陸へ進出していったことはほぼ理解している。
- ・日本のロシアに対する対抗心の芽生えについてほぼ理解している。
- ・およそ半数の生徒が日露戦争の結果および講和条約について知らない。

本時において重要となる日本の大陸進出と、ロシアへの対抗心については、ほとんどの生徒が理解している。しかし、日露戦争の結果などについては理解していない生徒が多く、十分な取り扱いが必要である。そのため、授業展開では日露戦争の結果についても十分に触れて理解を深められるように解説したい。

また正答の少ない生徒に対しては、特にサポートが必要であり、授業中も意識してみていきたい。具体的には、授業中の声かけや確認、希望があれば授業外でのプリント等でのフォローなどの手立てを講じていきたい。

#### 5 単元の目標

- (1) 明治の文化について興味を持ち、意欲的にその内容や人々の業績を追求している。<関心・意欲>
- (2) 日露戦争について、国際関係での日本の立場の面と、国内の反応の面から考察している。<思考・判断>
- (3) 日本を取り巻く当時の国際関係について、資料から考察し結果をまとめ説明できる。<技能・表現>
- (4) 近代文化が形成されたことを、学問や化学技術で国際的な業績が生まれたことから理解し、その知識を身につけている。<知識・理解>

#### 6 指導計画 (6時間扱い)

- (1) 欧米列強の侵略と条約改正…1時間
- (2) 日清戦争 …1時間
- (3) 日露戦争 …1時間 (本時)
- (4) 韓国と中国 …1時間
- (5) 産業革命の進展 …1時間
- (6) 近代文化の形成 …1時間

## 7 本時の指導

### (1) 目標

- ① 風刺画から日露戦争における世界の関心の具合と、日本とロシアへのそれぞれ評価などを読み取ることができる。〈思考・判断〉
- ② 日本の国際的な地位の向上について学び取ることができる。〈知識・理解〉

### (2) 展開

学習活動と内容	時配 (形態)	指導上の留意点 ●学び合える場の設定の工夫	評価
1 導入から日露戦争に対して興味を持つ。	3分 一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な医薬品である正露丸を題材に日露戦争に触れる。</li> </ul>	
2 ロシアの南下政策と日本の大陸進出に触れ、両者の衝突の必然性を考える。	5分 一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本とロシアがそれぞれの利害から対立していくことに気付かせる。</li> </ul>	
3 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">日露戦争はどのような戦争で、戦後の日本はどうなっただろうか。</div>	2分 一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を提示する。</li> </ul>	意見を発表することができる。 ノートへの記述がしっかりとできている。
4 風刺画から日露戦争について読み取る。	15分 一斉 個別	<ul style="list-style-type: none"> <li>●意見の発表の場、紹介の場を作り、多くの生徒から意見を募る。</li> <li>・日本が力の差では圧倒的に不利であった点に気付かせる。</li> <li>・画の細かいところにも情報が記されているため、注目するよう助言し、日本が開戦に踏み切った理由を考えさせる。</li> <li>・日本の帝国主義について触れる。</li> </ul>	
5 日露戦争の発生と講和条約について学習する。	15分 一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日露戦争の結果として、日本にとっては比較的優位な講和条約を得ることができたことに触れる。</li> </ul>	
6 世界の日本への評価について知る。	5分 一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本への世界の評価がおおむね良くなった点を確認させる。</li> </ul>	

7 まとめ	3分 一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インド、中国、ベトナム、ビルマなどから留学生が日本にやってくるようになったことを補足し、当時のアジアにおいて日本の立場が変化したことにもふれる。</li> <li>・全体の流れをまとめるとともに、帝国主義の国家として誤った方向に進んでいってしまう日本についても述べる。</li> </ul>
-------	----------	---

### (3) 教科研究主題に関する考察

本校の社会科は「自ら学び、思考し、表現する生徒の育成—社会科の学習における学び合いの場を通して—」を研究主題としている。そのなかで、研究目標として掲げているのが、以下の2つである。

- ① 身近な教材や学習方法を工夫することで意欲的に学習に取り組めるようにする。
- ② 生徒が自ら考え、表現できるようにする。

そこで、本時では身近な教材として導入部分で「正露丸（征露丸）」を用いることで生徒の興味・関心を喚起する。そうすることで意欲的に学習に取り組むだろう。また、風刺画からの読み取りをクラス全体に投げかけ、また発表の場を設置すれば、生徒は自ら考えることができるようになり、発表することにも慣れてくるだろう